

# STOP 戦争法案

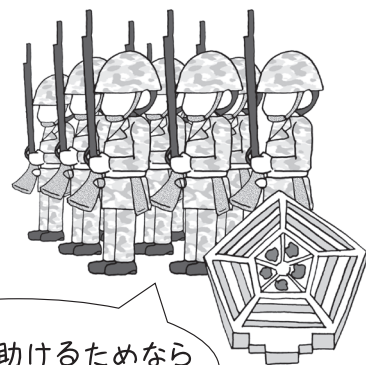
# 平和の文化であるスポーツと 相容れない「戦争法案」に反対

2015年6月7日、新日本スポーツ連盟理事会は、「暴力の否定を通じて平和の文化として発展してきたスポーツは、最大の暴力である戦争とは相容れない」という立場から、国会で審議されている「平和安全法制整備法案」「国際平和支援法案」に反対するアピールを發表しました。以下は、その概要です。



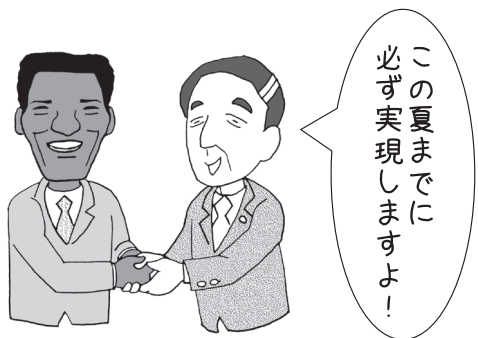
## ■ スポーツは平和の時代にこそ発展してきた

スポーツ連盟は、「スポーツは平和とともに」のスローガンをかかげ、反核平和マラソンを各地で開催してきました。さらに、「暴力の否定を通じて平和の文化として発展してきたスポーツは、最大の暴力である戦争とは相容れません」という立場から、「戦争をしない国」を保障してきた憲法9条を守る活動にも参加してきました。



## ■ どこでも武力行使を可能にする戦争法案は廃案に

いま国会で審議されている「平和安全法制整備法案」「国際平和支援法案」は、日本を海外で「戦争をする国」にする憲法違反の「戦争法案」といわねばなりません。新日本スポーツ連盟は、スポーツそのものを否定しその発展に逆行する戦争法案に強く反対しその廃案を求めます。



## ■ アンフェアな手法 容認できない

安倍晋三首相は、先のアメリカ訪問の際に、米上下両院において、「この夏中の制定」を約束する演説を行いました。このように、国会において提案もされていない法案の制定を約束することは、国民主権をないがしろにし、議会制民主主義を否定するものであり、決して容認できません。

## ■ 2020東京五輪 心から歓迎される平和の祭典に

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを「憲法9条がある国」、「戦争をしない国」として開催し、世界の人びとに心から歓迎される平和の祭典にしようではありませんか。

そのためにも、戦争法案に反対し、憲法9条を守り活かすためにスポーツの分野においても共同の声と行動を広げることが心から訴えます。



▶▶ 「戦争法案」に反対するアピール全文は、ホームページで <http://www.njsf.net>